

## 春よ、来い！

冬至を過ぎ、少しずつ昼間の時間が長くなってきました。先週は比較的暖かい日が多く、「このまま春に向かえばいいのに」と思いましたが、やはり暦はうそをつきませんね。20日が二十四節気の最終節である大寒。これは最も寒い時期という意味で、1年の最低気温もこの時期に記録されることが多いのですが、やっぱり今週からまた寒くなるようです。しかし、「冬来たりなば、春遠からじ」の言葉通り、あと半月あまりで立春を迎えます。春はもう目の前です。今年の冬はコロナとインフルエンザがダブルで流行しています。寒さに負けず、しっかり体調管理をしてほしいと思います。ちなみにこの「冬来たりなば・・・」は、英国の詩人シェリーの詩「西風の賦」の一節から引用されたもので、けっこう有名なフレーズです。これは“長い冬を耐えて春を待つ気持ちの表現”に加え、“つらい時期を耐え抜けば、幸せな時期は必ず来るというたとえ”として用いられています。「苦あれば楽あり」に通じるものがあります。特に3年生にとっては、まさに今の時期にぴったりの言葉でもあります。先日の始業式でも「今学期のキーワードを“有終の美”にします。」と話をしました。寒さが厳しい上に精神的にもきつい時ですが、自分に負けることなく最後まで必死に頑張って“有終の美”を飾り、十五の春を迎えてほしいと思います。



## Key Persons 決定

学年学級閉鎖のため、2学期末に予定していた生徒会役員選挙を延期していましたが、先週12日に実施することができ、新しい生徒会長と副会長が決定しましたのでお知らせします。

会長：森 真理	副会長(男子)：小林 駿斗
	々 (女子)：福田 みちる

今回の立会い演説会も始業式と同様、コロナ第8波への予防措置として、リモートで行いました。どの立候補者も緊張気味ではありましたが、立派に自分の意見を述べていました。今回、選出された3名が令和5年の生徒会活動の

“Key Persons”となります。しっかり頑張してほしいと思います。いずれにしても、結果はどうかであれ、当選を果たした生徒も、惜しくも当選を逃した生徒も、その思いは同じです。“立候補”という貴重な経験を生かし、生徒会活動だけでなく、あらゆる場面でリーダーとして活躍してほしいと思います。このあと書記と専門委員長が生徒会長から任命され、新生徒会が始動します。生徒会役員引継式を2月6日に予定していますので、例年より1カ月ほどスタートが遅れることとなりますが、会長を中心に精いっぱい頑張ってくれると確信しています。活動意欲の高い2年生です。役員だけでなく、全員が“New Reader”として活躍してくれることを期待しています。

